

# 石棚山稜から檜洞丸へ 石棚山～檜洞丸

実施日 2022年4月23日(土)

天候 晴れ

リーダー 峯川 弘子

参加者 石原勝正、遠井謙策、  
宮崎敏男、峯川弘子 計4名

費用 電車往復1,572円～ 丹沢往復割引2,200円

タイム 新松田駅(7:45)箒沢公園橋口(9:00)板小屋沢ノ頭(10:50)ヤブ沢ノ頭(11:48)石棚山(12:15~35)テシロノ頭(13:07)檜洞丸(13:57~14:20)展望園地(15:25)ゴウラ沢出合(16:05)西丹沢ビジターセンター(16:55)

当日まで石棚山稜を下りに使うか正直、自分の体力が迷っていた。

箒沢公園橋バス停で下車、そして皆様に告知、帰りのバス、17:05の後には19:00になること、できる限り17:05のバスを目標で、それには檜洞丸を14:30までに出発すれば間に合うこと、計画を入れた自分が1番足を引



っ張るかもしれません、すみません、よろしく願い致します(お~い!) 大石キャンプ場から沢沿い、時々へつりをしばらく歩いて始まる。

板小屋沢ノ頭までの登りは予想通りの激登り、快晴で木立の間から富士山がバッチリ、各自の歩行速度と立休憩で乗り切った、いやー、まいりました、健脚の先輩方3名に完全に置



いていけました。

次のヤブ沢ノ頭までは荒れたガレ場と木の根っこの急登、崩落、苔むした岩場の登下降を少し繰り返し到着。

下山者とポツポツすれ違い始めた。なんだか皆さん憐れんだような？表情でこちらを見ている気がする、気のせいかな？

石棚山では先に到着したメンバーから順番に昼食、これがとても時間短縮になりました。



そこからは登山道の雰囲気ガラッと一変、傾斜も緩やかになりよく整備されていた、途中の立休憩もそ



こそこに全員スピードアップ、予定より早く14:00少し前に檜洞丸到着、わっしょい！！

時間に余裕ができたので今日初めての大休止、皆でコーヒーを飲み山頂を味わいました。

下山のツツジ新道も年々荒れているようで、所々に真新しい鎖が取り付けられていた。

新緑と満開のミツバツツジ、山桜が美しい！



ゴウラ沢出合からの渡渉地点も昨年より変わっていて、さらに登山口までの間に「ウェルキャンプ」の私有地を開放しているという新しい登山道ができていた。お

そらく近道のようなのだが、増水時は通行困難と看板に書いてあるので、前日の大雨で逆に時間が掛かるかも、ということで通常のルートへ。

そして登山口到着16:53、予定のバスに間に合った、いや、全員協力で間に合わせた？

本当にお疲れさまでした。



そして新松田駅前の居酒屋で生ビールでかんぱーい！！  
大汗後の生中、最高ー♪ 4人で達成感を祝

いました。

(全員が1杯で終わらなかったのは言うまでもない？笑)

皆さま、お世話になりました、ありがとうございました。

(記&写真・峯川 弘子)

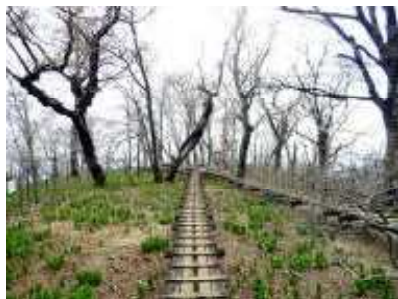
(写真提供・石原勝正／遠井謙策)

### 【メンバー一言】 (原文)

☆石原勝正☆

昨年来からのコロナの感染状況の拡大でこぶし会山行への参加自粛を4月に解除してから檜洞丸登山は初めての本格的日帰り山行として楽しむことができ満足です。

特に箒沢公園橋から入山し板小屋沢の頭を經由し石棚山陵に上がる急登の連続の苦しさ、緩やかに登る石棚山陵、山頂までのバイケイソウ群落と木道歩きはいい思い出となりました。



☆遠井謙策☆

初夏の丹沢は私にとってトキメキの

世界。期待通りの展開でした。三葉躑躅と山桜に歓迎された檜洞丸。

初めての石棚山コースがキツく感じたのは歳のせい？でも山頂巡る散策路はいつも快適！思い出の青ヶ岳山荘とも懐かしく交流。



精鋭4人の反省会も素敵な一日を色濃く締めてくれました。明日は孫の誕生パーティー、これも賑やか楽しいものです♪！

☆宮崎敏男☆

山登り老兵の独り言

・「下りさえ大変な石棚山稜に登りに使うとは！このコースを登ってるなんて！尊敬します」下ってくる若者からももらった言葉。このコース登



山口で一緒だった強そうな独行二人以外われら4人だけ。

ムムム・・・ここはそういう

コースだったのか。会報・リーダーの山行紹介はもっと深読みしよう。確かに「夏山へのトレーニングとか言うて、、、しんどそう〜！」とありました。

・私事都合により4週間ぶりの山登り。脚が重い、力がでない(急登だったけど…)山登りに役立つ抗重力筋は山登りによって養われます。日常生活では衰え易いものだそう。こぶし会の皆さん月に2回は山に登ろう！